

シミンのジリツを支援するNPO法人

# シミンズシーズ

年次報告書 2017



## シミンズシーズ 2017 年度年次報告書

発行元 / 問い合わせ先

NPO法人 **シミンズシーズ**

〒675-0065 兵庫県加古川市 加古川町 篠原町 111 番地

Tel : 079-422-0402 Fax : 079-421-0407 Mail : [info@npo-seeds.jp](mailto:info@npo-seeds.jp) Web : [www.npo-seeds.jp](http://www.npo-seeds.jp)



えっちら！おっちら！  
喜びの音（ハ）

## 2017 年度活動報告



### もくじ

P.01 ごあいさつ	P.09 事業報告*Field.02 公共施設	P.17 事業報告*法人運営
P.03 シーズについて	P.11 事業報告*Field.03 地域	P.19 講師派遣一覧
P.05 シーズのスタッフ	P.14 事業報告*Field.04 公園	P.20 決算報告
P.07 2017年度 ハイライト	P.15 事業報告*Field.05 組織	P.21 次年度事業計画
P.08 事業報告*Field.01 学校	P.16 事業報告*Field.06 ネットワーク	P.22 次年度予算計画

## 2017 年度のお礼とご報告

今年度も、多くの会員やボランティアのみなさん、また新たにシミンズシーズ とつながっていただいた方々のお陰で充実した15年目を終えることができました。

特定非営利活動促進法が制定され、まもなく施行20年を迎えます。NPO法人の数も全国で5万を超えるようになりました。しかしながら、まだまだ業界全体の基盤は脆弱で、それ故にとでも言えるのですが、いわゆる中間支援組織に求められる機能や対応力は多様化し高度化して来ています。

そのような中で、当法人も社会の変化の中から読み取らなければならないもの、法人の持っている特性や組織力を見極めつつ、ここ数年、法人のあり方の議論を重ねています。

2017年度の総会で理事1名が入れ替わりました。役員任期は2年ですので過去7回の役員改選を経たこととなりますが、今回の改選で創設当初からの理事は一人だけになりました。人数だけでは推し量れませんが、これも時代の変化に対応し、かつ組織の熟度に応じて形を変えようとしてきた結果の表れだと思います。少しずつ若返る理事の議論は、アグレッシブで、フレッシュで、かつダイナミックです。新しい組織へと脱皮を図るに十分な可能性を感じさせてくれるものでもあります。

また現場レベルでも、毎年度末の合宿(たのCAM=楽しいをつくるキャンプの意)において、私たちの活動を加古川、東播磨、兵庫、全国の4つに分け、それぞれの場でどのような役割を期待され、応えることができているのか、私たちのやりたいことは何なのか、らしさは出せているのかなど、理事会での議論も含めて、いろいろな角度から分析を加え、2018年度の体制や事業を組み立てました。

今年度の各事業の進捗詳細は報告書をお読みいただくとして、(1)東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理事業では、運営体のあり方を(2)明石コミュニティ創造協会との連携事業では、契約のあり方をいずれも新しい形にする判断をし、(3)チームブランディング事業においては、プロジェクトを独立させて行く方向性を確認しました。

2018年度も新しい法人の形を確立すべく、今年度に意思決定したものを踏まえてスタッフ一同努力して行きますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

代表理事  
田中 茂



Vision

誰もが「市民」という役割をたのしめる社会へ

Mission

シミンの自律と自立を支援する

Service

"たのしい"のプロデュース

人のいるあらゆる場所、場面で、「自分でつくる」ことへの動きかけを企画するのが私たちの仕事です

- 市民参加の企画・プロデュース
  - チームブランディングプログラムの提供
  - コミュニティプランニング
  - ファシリテーション
  - コミュニケーションデザイン
- など

Field

1 学校

Field 1 school

学校でのキャリア教育プログラムや参加型プログラムの提供、またインターンシップの受け入れを通じて、これからの地域や社会に関わる上で必要なスキルを身につける機会を提供します。

3 地域

Field 3 local

東播磨地域を中心に、地域住民が主体となった地域づくり、コミュニティづくりを行っています。地域と一口に言っても、自治会町内会といったローカルなものから、地域の魅力の発信など、幅広く活動しています。

5 組織

Field 5 organization

主体的、自律的にスタッフが運営に携わり、チームとして1つになれるよう、チームづくり、組織づくり、理念づくりのための研修プログラムを提供しています。

2 公共施設

Field 2 publicspace

市民参加型の公共施設の運営を行っています。兵庫県加古川市にある「自立東播磨生活創造センター『かこむ』」の開設当初から運営に携わり、施設管理者としては丸9年が経過しました。

4 公園

Field 4 park

市民にもっとも開かれた公共の場である公園を切り口に、利用する市民、近隣住民を中心としたコミュニティづくりを行っています。

6 ネットワーク

Field 6 network

兵庫のNPO業界がよりたのしく、おもしろくなるよう、団体ごとの個別の運営支援のほか、業界のネットワーク事務局も担っています。

私たちは、  
誰もが感じる「たのしい」という気持ちを大切にしています

シミンズシーズのビジョンにある「市民」という役割とは、一人ひとりの「社会への関わり方」と言い換えることができます。

様々な課題が溢れる社会において、市民の社会への関わり方＝「責任」が問われています。しかし、この状況を「責任」と捉え、動き出す人はそう多くいるとは言えません。

私たちは別のアプローチで社会への関わり方を作りだしていけるのではと考えています。それが、一人ひとりが抱く「たのしい」と感じる気持ちです。

人が「たのしい」と感じることはまさに主体的なものであり、その瞬間や場面、感じる対象などは様々です。ゆえに、そのエネルギーが社会に顕在化するには時間がかかり、強大な影響力は保証できるものでもありません。

しかし、そのエネルギーは、責任を押し付けることだけでは発揮しえない持続力や求心力を備えています。社会への関わり方としてこのような力が求められているのではないかと思うのです。

シミンズシーズは、地域や社会を「自分でつくる」ことで得られる「たのしい」を見出すために、様々なフィールドにおいて、一人ひとりの思いを尊重し活動しています。

社会の一員として参画することって「たのしい」。  
自らの手で地域をつくることって「たのしい」。

これらの「たのしい」から人はあらゆる場面で「自分ごと」となり、シリツした市民として主体的に社会に関わっていくと考えています。

社会には、たくさんの「たのしい」が眠っています。  
「誰もが「市民」という役割をたのしめる社会」に向け、シミンズシーズは「たのしい」をプロデュースし続けます。

# シミズシーズ 2018年度スタッフ



代表理事

田中 茂 (しげるちゃん)



代表理事

主に地域・ネットワーク担当

柏木 登起 (ときちゃん)



事務局長・理事

主に地域・公共施設担当

阪口 努 (つとむん)



事務局次長

主に組織支援・公共施設担当

柏木 輝恵 (きえちゃん)



マネージャー・理事

主に地域・学校担当

木上 裕真 (きがみん)



マネージャー

主に地域・公共施設担当

西尾 優 (にっしー)



コーディネーター  
主に公共施設担当

中野 武 (たけちゃん)



コーディネーター  
主に地域・公共施設担当

一川 有希 (いっちゃん)



コーディネーター  
主に公共施設担当

谷原 葵 (あおいちゃん)



コーディネーター  
公共施設担当

東 実穂 (みほちゃん)



コーディネーター  
公共施設担当

太田 めぐみ (めぐちゃん)



コーディネーター  
公共施設担当

森田 久子 (チャコちゃん)



コーディネーター  
公共施設担当

金谷 ひふ美 (かなっP)



コーディネーター  
公共施設担当

宮本 絵里子 (えりちゃん)



コーディネーター  
公共施設担当

岩橋 亮汰 (いわっち)



コーディネーター  
公共施設担当

岡部 友香理 (おかちゃん)



コーディネーター  
公共施設担当

手島 結華里 (ゆかりん)



総務

吉田 加奈子 (よっしー)

## 祝! 卒業

佐藤 桂子は出産のため2018年6月に卒業、別所 初弥も次のステージに進むため2018年5月に卒業しました。  
岩橋 亮汰はコピーライターを目指して修行しながらアルバイトスタッフとして、長澤 潤一郎も企業で働きながら、NPO支援を続けるという、サポータースタッフとしてのこれまでは少し違った関わりに、それぞれのライフステージに合わせて、シーズの働き方・関わり方もますます多様になりました。



サポータースタッフ  
主に組織支援担当  
長澤 潤一郎 (じゅんじゅん)

## さらに新メンバーも!



主に公共施設を担うメンバーとして、2人が夏〜秋に加わる予定です。  
どんなメンバーなのかはお楽しみに!



学校へのキャリア教育プログラムの提供

## 学校の中に根ざす授業へ

「アクティブラーニング」という言葉が盛んに取り上げられるようになり、当法人でも引き続き、高等学校および専門学校で、4つの授業を企画・実施しました。

当法人の本事業における役割は、①参加型の授業プログラムを企画する ②講師・ファシリテーターとして授業を実施する ③地域の人・団体をコーディネートする という大きく3点があります。

その中で、1つの成果として見えてきたのが、県立農業高校定時制課程における「生き方みち回鑑」というプログラムです。本プログラムは3年間、2年生を対象に毎年続けてきた

授業で、地域の大人に生き方や仕事観について話を聞き、将来への視野をひろげるというものです。先生方と1つ1つの授業プログラムを企画・検討することを続けてきた結果、2年生における重要な授業という位置付けになっただけでなく、1つのプログラムの型が完成し、参加型の授業を実施する先生も増えました。当法人としては、学校の中で生徒のジリツにつながる授業を行なわれていくよう、学校のジリツという視点ももちながら関わりを続けていきたいと考えています。

文・柏木輝恵(さえちゃん)

## DATE

### 兵庫県立農業高等学校定時制課程

- 2年 生き方みち回鑑 3回
- 4年 シミンのジリツ講座 5回

### 兵庫県立明石清水高等学校

- 2年 暮らしと環境 1回
- 3年 コミュニティ創造 2回

### 兵庫大学

- コミュニケーション論 15回

### 国立明石工業高等専門学校

- 1年 アクティブラーニング入門 14回

## インターン受け入れ実績

兵庫県立明石清水高等学校  
国立明石工業高等専門学校  
神戸学院大学  
兵庫県立加古川南高等学校など



インターンシップの  
受付人数は  
毎年増えています!

## 担当のつぶやき



メインスタッフ・さえちゃん

県立農業高校定時制課程2年生の授業は、先生方、地域のみならずのご協力のおかげで、1つの形として完成系に近いものができあがりました!



メインスタッフ・きみん

学生から見た今の地域や社会の姿を知ること、自分自身も勉強になります。

# 2017年度 シミンズシーズ ハイライト

2017年度にシーズで起きた出来事を  
5つのトピックスにまとめました♪

## 1 「かこむ」指定管理4期目 コンペ採択!

指定管理者として運営している東播磨生活創造センター「かこむ」の第4期目(2018~2020年度)のコンペが行われ、無事に採択されました!第4期目の大きな特徴は、BAN-BANネットワークスとの共同事業体で応募したこと。BAN-BANと連携のもと、次のステージの「かこむ」運営を目指します!



## 2 兵庫県地域創生ユース チーム運営事業を開始

2017年度、新規事業として兵庫県地域創生ユースチーム運営事業を実施しました。大学生と自治体職員がグループになり、兵庫県の地域創生の取り組みを考えるというものです。シーズは、その事務局としてワークショップの進行など担当しました!



## 3 高校生による加古川寺家町 商店街の活性化企画 「かこがわ若者会議」実施

加古川市内の高校生が約1ヶ月かけて、加古川の寺家町商店街を活性化する企画をつくり、最後は地元の方々に向けてプレゼンテーション。13人の高校生がサポーターの大学生と一緒に、ホラーイベントやインスタスポットなど、4つの企画を作りました。



## 4 複合型交流拠点 「ウィズあかし」運営 スタート!

シーズが連携協定を結び、スタッフを派遣している明石コミュニティ創造協会が、明石市生涯学習センター、あかし男女共同参画センター、あかし市民活動支援センターの3つの機能を持つ、複合型交流拠点ウィズあかしの運営をはじめました。シーズが運営する「かこむ」のノウハウが明石で活かされています!



## 5 新体制を目指して 経営合宿(通称:たのCAM) 開催

例年2月頃に実施する合宿「たのづくりCAMP」。今年度は、神戸三田アウトドアビレッジTEMILで開催。次の3年を見据えた大きな方向性を議論する場となりました。夜中23時ごろまでお酒を飲まずに真面目に議論した合宿は初めてのことも!?





シニア世代「地域デビュー」支援プラザ運営

## シニア世代の交流拠点に

### DATE

シニア交流サロン	実施回数 24回
	延べ参加者数 650名
シニアいきいきまちサロン	実施回数 15回
	延べ参加者数 186名
シニア居場所情報交換会	実施回数 1回

「シニア世代・地域デビュー」交流フェスタ」では、シニア世代が地域活動や社会に参画することで、充実したセカンドライフを送れるよう支援しています。東播磨地域で活動するサークル団体やボランティア団体の紹介や情報提供、シニア世代向け交流会を企画するなど、地域活動等とのマッチングを図っています。

5年目となる2017年度は、シニア世代同士の交流の場として「かこむ」で開催する「シニア交流サロン」の累計開催回数が100回を超えました。事業を積み重ねていくなかで、参加するシニア世代が着実に増え、交流内容を充実させることができました。

### シニア交流サロン

月2回開催するシニア交流サロンは、2017年度に100回を迎えました。運営ボランティアを中心に、参加者もサロンを盛り上げるためにいるんなお手伝いをいただいています。

### シニア居場所情報交換会

サロンなどの運営者で情報交換する初めての試み「居場所情報交換会」も行いました。



地域の身近な場所で地域活動へ参加できる出張企画「シニアいきいきまちサロン」は、8ヶ所で開催。地域で活動をはじめるシニア世代が活躍する交流拠点が形になってきたことを感じた1年でした。

文・岩橋亮汰(いわっち)

### 担当のつぶやき



メインスタッフ-いわっち  
いろんな方に協力いただきながら、実践的に開催しました。感謝です!



メインスタッフ-あおいちゃん  
色んな人と触れ合い、新しい環境に出会えます。わくわく楽しい毎日です。



メインスタッフ-チャコちゃん  
人の出会いや生活にも新たな一歩に出会える。



メインスタッフ-ゆきちゃん  
皆さんの楽しげな姿を見て改めて「生活創造」っていいなと思っています。



メインスタッフ-かずみちゃん  
たくさんの人と出会い、つながっていただくことがうれしいです。私も日々色んな事に挑戦しています!



メインスタッフ-スリちゃん  
ひろがり・つながり・ここから始まります。



メインスタッフ-みゆちゃん  
明るく豊かで楽しい暮らしと地域って、いいね〜! 元気な声です。一緒に楽しくまちづくりしましょう。

兵庫県立東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営事業

## 多様なつながりが生まれる施設へ

### 恒例イベントも充実

かこむ創造フェスタは8回目、ごちゃまぜ交流会は4回目を迎え、これまでたくさんの参加者やボランティアが関わりました。



指定管理運営第3期目※の3年目となる2017年度は、有料施設年間稼働率70.9%と、過去最高を記録しました。3期目は、他の様々な事業によって、「かこむ」利用層とは異なる層(商店や個人、若年層、自治会等)とのネットワークを拡大してきたことで、「かこむ」の利用層の幅も広がりました。

また、施設利用だけでなく、年に一度開催している主催企画「ごちゃまぜ交流会」も、老若男女、活動ジャンルを問わず、多様な顔ぶれが参加し、こちらも過去最高人数の193名の参加となりました。

「つながる施設」をコンセプトに運営して6年。多様な人とつながれる施設として一つの完成形をつくりあげることができたと感じて

### DATE

開館日数	349日
年間来館者数	240,203名
有料施設利用率	70.9%
かこむ倶楽部登録団体	449団体
相談対応件数	54,334件
コーディネート	130件
登録ボランティア総数	66名

### かこむって?

2008年に誕生した、豊かな生活を創造するための主体的な活動をバックアップする拠点施設です。

兵庫県加古川市加古川町寺家町  
天神木97-1

※第3期目...  
2015~2017年度の指定管理期間のこと

います。今後より多様な人々が集い、つながれる施設として、生活創造活動の裾野を広げていくことに尽力していきます。

文・柏木輝恵(きえちゃん)



兵庫県地域創生ユースチーム運営事業

## 若者のちからで魅力発信

2017年、兵庫県地域創生局がスタートさせた「兵庫県地域創生ユースチーム」の運営業務に携わりました。若者に向けて定住や移住を促進させていくために、兵庫の魅力にさらに発信していくという取り組みです。

この事業の主役となるのが、県内の大学に通う学生と、兵庫県・市町の若手行政職員。彼ら自身が関心のあるテーマを取り上げ、同世代にその魅力を伝えるための企画立案、そして実践していきます。

2017年度は参加者それぞれの関心を大切にしながら、チームづくりを丁寧に行いました。立場の異なるメンバーだからこそその意見が交わされ、ユニークな企画が生ま



れつつあります。2018年度は実際にその企画を具現化していきます。

文・佐藤桂子(けいちゃん)

### DATE

全参加者数	大学生 32名 行政職員 9名
全体会議	3回
セミナー	4回

### 全体会議・セミナーを開催

チームにわかれて企画を立てる全体会議を3回行ったほか、兵庫県でどのような事業が行われているのか、マーケティング手法やプレゼンテーションについて学ぶセミナーも計4回開催しました。

### 担当のつぶやき



メインスタッフ-せいちゃん

年齢・性別・専門の異なる若者が集まり「兵庫県の地域創生」を考える場は、前向きなエネルギーがたっぷり!



メインスタッフ-きびみん

参加者同士、互いの思いを交わし合う中で、地域への関心の高まりを感じています。



明石コミュニティ創造協会運営支援

## 複合型交流拠点「ウイズあかし」運営開始!

### 主な取り組み

#### ◇ウイズあかし管理運営事業

生涯学習推進、市民活動支援、男女共同参画のそれぞれの講座や交流などの事業を行うとともに、3つの機能を掛け合わせた複合型の事業などを開催しました。

#### ◇地域支援事業(協働のまちづくり推進組織支援事業)

28小学校区の校区まちづくり組織の状況に合わせ、会議や意見交換会の進行補助や組織の運営支援、WEBサイトの構築など、明石のまちづくり全体の支援を行いました。

#### ◇市民の主体的な活動支援事業

11月に開催された「B-1 グランプリ」全体のボランティアマネジメントに携わるなど、明石市が行う事業などの市民の主体的な活動に関わる支援を行いました。

2017年度の明石コミュニティ創造協会は、明石市生涯学習センター及びあかし男女共同参画センターの指定管理運営(施設受託)複合型交流拠点ウイズあかしのスタートに伴い、人員体制、事業内容を大幅に変更し、組織にとって大きく飛躍する1年でした。運営当初は十分な引き継ぎができていないことで戸惑うこともありましたが、施設の利便性向上や事業広報の工夫、また市民参加の取り組みを行うことで、利用者満足度を高める運

営も行えました。

また、重要事業である地域支援事業では、これまでに続き校区まちづくり組織の直接支援を行い、組織の状況に合わせた支援を行うと同時に、地域情報共有サイト「まちナビAKASHI」の開設や、地域活動事例を学ぶ「まち活パワーアップセミナー」の開催など、新たな活動にも取り組みました。2018年度はウイズあかしと地域をさらにつなげていきたいです。

文・木上裕貴(きがみん)

### ピックアップ! ウイズフェス開催

より多くの方に知ってもらうため、「ウイズフェス2018」を3月4日に開催するなど、イベント開催にもちからを入れました。



### 担当のつぶやき



メインスタッフ-とぎちゃん

ウイズあかしの運営が始まりバタバタの1年でしたが、新しい公共施設の形にチャレンジできました!



メインスタッフ-きがみん

ウイズあかし立ち上げ1年目。すべてのことが初体験。これからも楽しみです。



かがわ活性化プロジェクト

## 高校生がはじめるまちづくり

2016年7月にリニューアルした拠点「00」に日替わり店長制度を導入し、市民主体の運営に取り組みました。ものづくりが得意な人や料理の得意な人、デザインが得意な人など、多様な人材発掘の拠点として機能し始めています。

2017年度は、高校生によるまちづくりプログラム「かがわ若者会議」も実施しました。かがわ若者会議は、加古川市内の高校生が集まり、「商店街活性化」に向けた企画を考え、実行するプログラムです。高校生が4つのチームに分かれて企画を進め、大学生がファシリテーターとしてサポートする体制で実施。企画したアイデアは、地元企業や

商店会の協力を経て実現に向けて動き出しました。

本企画を通じて、学生が地元のことを考え、実行するきっかけを提供することができました。

人材発掘のための定例企画「加古川飲み会議」や「MANABIYAKAKOGAWA」も定着しつつあり、地元市民のまちづくりのきっかけづくりに取り組んできました。

今後、さらに市民のまちづくりを後押しできるよう、収益源を確保し、運営基盤を整えることを目指します。

文・阪口 勇(つとむん)

### 00.Work Shop space&office



### DATE

かがわ飲み会議の開催	9回
参加人数	169名
かがわ若者会議ワークショップ	6回
参加人数	21名
MANABIYA KAKOGAWAの開催	12回
参加人数	120名



高砂海浜公園パークコミュニティマネジメント

## 最終年度、活動の定着へ

高砂海浜公園は設立から30年以上が経ち、設備の老朽化やアオサの大量発生など、この公園特有の課題から、利用者が減っていました。2013〜2015年度の3年間、当法人が携わった「高砂海浜公園パークコミュニティマネジメント支援事業」の取り組みにより、地域住民が公園に関わる機運は高まりつつあるものの、その力が十分に発揮されているとは言えない状態にありました。2016年度から、同公園の海岸に発生するアオサの採取や清掃を行うボランティアを育成し、活動を定着させることを目的に事業を実施してきました。この取り組みにより、新たな活動グループが生まれつつあったことから、2017年度は最終年度として、それら

の活動が継続するために、関係者との協議の場を持ちながら基盤整備に努めました。

これまで複雑だった行政の関係機関窓口を一本化し、活動を始めたいと考えているグループのハードルを下げることを行いました。加えて、公園に隣接する「高砂市青年の家」と連携することで、道具倉庫の管理や情報発信のサポートを担う活動の拠点機能を付与することができました。

本事業を通じて、高砂海浜公園での活動が定着できる環境を整備できたと考えています。

文・西尾 泉(にしー)

みんなでアオサ採り！



### DATE

アオサ採取活動の定着サポート	3回
アオサ堆肥化活動の自立サポート	1回
関係者との調整検討会議の実施による基盤整備サポート	3回



メインスタッフ-にしー

「やらなければ」よりも「やりたい」で始まる活動ってやっぱり素敵だなと再確認しました。



メインスタッフ-さいちゃん

たくさんの人、気持ちいい場所と出会えた1年。まちには楽しいが溢れています。



メインスタッフ-こっしー

自分たちの影響をもっと楽しみたいという思いにたくさん触れ、何ができるかを模索した1年でした。



メインスタッフ-つとむん

まちでうまく遊ぶ、そんなところからいいまちがつけられていくんじゃないかなと思います。



チームブランディングプログラムの提供と情報発信支援

## 理念からチームブランドに

今年度は、NPOや企業を対象に年間を通じたブランディング支援や、チームの元となる組織基盤づくりを支援する取り組みを実施しました。各団体に向けては、ワークショッププログラムを提供するだけでなく、企画や組織運営に関わりました。

また、NPOのブランディングについての意識啓発や支援を充実させていくことを目的に、今年度は、主催事業としてもチームブランディングを体験できる講座やブランドマネージャー養成講座、2016年度に発刊した「ブランディングワークブック」は全国各地から多数の注文がありました。

さらに、今年度から新たに、NPOの情報発信を支援することを目的に、ライターを志望する市民と、情報発信を強化したいNPOをコーディネートするプロジェクト「+プラス」らいと」を実験的にスタートさせました。

さらに、今年度から新たに、NPOの情報発信を支援することを目的に、ライターを志望する市民と、情報発信を強化したいNPOをコーディネートするプロジェクト「+プラス」らいと」を実験的にスタートさせました。

文・柏木輝恵(さえちゃん)

## DATE

2017年度プログラム提供実績

NPO 法人生涯学習サポート兵庫  
プロジェクト支援、事業コンセプト・企画づくり支援

BAN-BAN ネットワークス(株)  
全社研修企画実施、地域密着戦略浸透支援

NPO 法人文化・福祉・人権サポート アエソン  
会議運営支援、パンフレット制作支援等

株式会社 Happy  
会議運営支援、パンフレット制作支援等

## DATE

2017年度「+らいと」実績

「+らいと」説明会の開催	1回
参加人数	9名
初めてのライター&フォトグラファー講座	連続4回 延べ85名
ライター登録	15名
ライター・フォトグラファー活動モデル事業	9回 モデル団体7団体

担当のつぶやき



メインスタッフーめぐちゃん

夢に向かって新しい一歩を踏み出す方々の姿に、心躍る感謝の日々です。



メインスタッフーさえちゃん

さまざまな視点と想いでアツク活動する団体のみならず、一緒に新しいことを考えられることがとても刺激的で充実した一年でした。

ひょうご市民活動団体協議会 (HYOGON) 事務局

## 新役員体制で次のステージへ

2017年度は、6月の総会で新たな役員体制となり、次のステージのひょうご市民活動協議会(HYOGON)のあり方を模索した1年でした。ボランティアとして参画してくれている役員メンバーのモチベーションを維持するために、事務局主導になりすぎず、同時に前に進んでいくためのバランスを保つことに事務局団体としての難しさを感じた1年であったと言えます。そのような中でも、合宿形式の運営委員会を持たせたことは、HYOGONにとって大きな一歩でした。

文・柏木登起(ときちゃん)

## DATE

ひょうごNPO塾	
---ファンドレイジングの方法と実践	20名
---NPOが生み出す成果の見える化	29名
チラシ合同発送プロジェクト	11団体
HYOGON ソーシャルカフェ	46名
新年賀詞交歓会	147名
HYOGON 流交流会 MEET UP!	
---NPO 法人ふぉーらいふ	15名
---きずなの家 KaRuTa	8名

## NPO 法人設立運営の手引改訂事業

兵庫県・神戸市版「NPO 法人の手引」の改訂プロジェクトに柏木登起が参加しました。

2017年度は、「設立・運営編」の改訂と、「認定 NPO 法人編」の大幅改訂に向けた方向性の確定を行いました。

兵庫県のホームページからダウンロードできます。



担当のつぶやき



メインスタッフーときちゃん

HYOGON の新しい役員とともに、新しい活動を生み出した1年でした。



メインスタッフーじゅんじゅん

ひとりひとりが連携して情報の共有や相互研鑽の場をつくれるよう奮闘中です!

## シーズ機関紙「たのたね」

社会の変化や当法人の活動内容を伝えるために、年4回機関紙を発刊しました。

- vol.12 これからのたのしい“遊び”
- vol.13 これからのたのしい“飲み会”
- vol.14 これからのたのしい“福祉”
- vol.15 これからのたのしい“おもてなし”



機関紙を届けてほしい！  
スタッフにお尋ねください

## 総会

## 第15期通常総会の開催

出席者数：正会員総数 37 中 32 名（うち委任状出席者 20 名）  
日 時：6月18日（日）14時00分～14時55分  
場 所：法人事務所  
審議事項：2016年度（第15期）事業報告の件  
2016年度（第15期）決算報告の件  
役員変更の件  
定款変更の件  
報告事項：2017年度（第16期）事業計画について

## 理事会

第1回	4月10日	2016年度事業実施報告／2017年度事業方針の共有
第2回	5月29日	総会議案の確認
第3回	6月18日	代表理事、副代表理事の選出
第4回	7月28日	法人の今後についての意見交換
第5回	9月15日	指定管理申請についての共有
第6回	10月15日	下半期の事業計画についての共有
第7回	2月5日	2018年度の事業計画について意見交換
第8回	3月12日	経営戦略合宿の共有、各種規定の見直し

## 2018年度 理事・役員

代表理事	田中 茂	柏木登起	副代表理事	衣笠仁浩
理事	幾田一輝 阪口 努	柏木輝恵 坂本龍哉	木上裕貴 畑本康介	佐伯亮太 破魔淳司
監事	高橋 逸	藤岡秀英		
顧問	落合英樹 中村義弘	高田良彦 船本博一	田代恭也 堀田照夫	嶋谷拓雄

2018年6月17日 現在



## 成果の最大化を目指して

法人運営

ここ数年、社会が変化していくのと同様に、シミズシーズが取り扱う事業や分野にも変化が現れてきました。そのような中で、シーズのこれからの歩みを固めていくために、昨年度設定した「法人のリブランディング」「人材育成」「新たな主要事業の確立」という3つのタスクを、次の5年のシーズを見据えて取り組みました。

全社員研修におけるリブランディングワークショップや、「チームブランディングプログラム」「かがわ活性化プロジェクト」の新たな主軸候補の事業への職員の重点配置などを実施。その中でも最も大きなアクションとなったのは、共同事業体での「かごむ」指定管理申請でした。これまでのシーズの中でも中核的な事業であった生活創造センターにおける成果を、これからはどうすればよいかを理事会などで議論を重ねてきた中で、地元メディア企業との共同事業体での申請という初チャレンジに至りました。

全スタッフ集まる会議と研修  
シーズ家家族会議＆第3 Sunday 大集合♪

毎月第3日曜日は、シーズスタッフ全員が集まり、会議や研修を行います。若手スタッフがワークショッププログラムを実践する場にもなりました。

毎月1回  
合計10回

今回のこのアクションのように、より地域社会に成果を出し続けていくために、他の事業においても展開エリアを意図した戦略設計や、それを実現するための働き方の見直しなどにも着手した1年。次のシーズに向けて歩みはじめました。

文・木上裕貴（さがみん）

## 担当のつぶやき



メインスタッフ-まっしー

入社5年目。それでも毎日新しい出会いがあり、喜びがあります！



Newスタッフ-おがちゃん

思いやり的心を忘れずかごで出会った方、地域の方が笑顔になれるよう頑張ります！



Newスタッフ-ゆかりん

色々な方々との出会いが楽しく、刺激的で楽しい毎日です。

I 経常収益

科目	2017年度実績	2016年度実績	増減
1 受取会費	323,000	313,000	10,000
2 受取寄付金	1,057,931	526,130	531,801
3 受取助成金等	1,270,000	1,000,000	270,000
4 事業収益			
(1) 個人のジリツ支援	125,184	69,348	55,836
(2) 市民のジリツ支援	38,429,735	38,476,833	-47,098
(3) 地域のジリツ支援	17,756,100	13,893,600	3,862,500
(4) 団体のジリツ支援	3,932,217	4,821,510	-889,293
(5) 全てのジリツ支援	890,048	1,247,443	-357,395
事業収益計	61,133,284	58,508,734	2,624,550
5 その他収益	36,007	20,481	15,526
経常収益計	63,820,222	60,368,345	3,451,877

II 経常費用

1 事業費			
人件費計	44,428,712	42,739,416	1,689,296
その他経費計	11,719,895	10,668,292	1,051,603
事業費計	56,148,607	53,407,708	2,740,899
2 管理費			
人件費計	2,846,534	1,869,402	977,132
その他経費計	2,487,178	2,466,525	20,653
管理費計	5,333,712	4,335,927	997,785
経常費用計	61,482,319	57,743,635	3,738,684
当期経常増減額	2,337,903	2,624,710	-286,807

III 正味財産増減の部

税引前当期正味財産増減額	2,337,902	2,624,494	-286,592
法人税、住民税及び事業税	277,100	475,800	-198,700
当期正味財産増減額	2,060,802	2,148,694	-87,892
前期繰越正味財産額	26,885,206	24,736,512	2,148,694
次期繰越正味財産額	28,946,008	26,885,206	2,060,802

科目	2017年度実績	科目	2017年度実績
<b>I 資産の部</b>		<b>II 負債の部</b>	
1 流動資産		1 流動負債	
小口現金	864,709	未払金	8,339,339
普通預金	10,271,321	未払法人税等	277,100
定期預金	14,011,942	前受金	2,447,420
未収金	15,284,569	預り金	1,126,642
前払金	216,860	仮受金	2,511
流動資産合計	40,649,401	流動負債合計	12,193,012
2 固定資産		2 固定負債	
車両運搬具	1	固定負債合計	0
一括償却資産	167,904	負債合計	12,193,012
リサイクル預託金	9,200	<b>III 正味財産の部</b>	
長期前払費用	312,514	正味財産期首残高	26,885,206
固定資産合計	489,619	当期正味財産増減額	2,060,802
資産合計	41,139,020	正味財産合計	28,946,008
		負債及び正味財産合計	41,139,020

田中 茂

氏名	所属	活動サポート事業
明石市市民協働推進室	委員長	活動サポート事業
<b>柏木 登</b>		
兵庫県県民生活課	アドバイザー	県民交流広場アドバイザー
上八代宮藤船合船	アドバイザー	地域再生アドバイザー
神戸市	委員	しあわせの村あり方検討プロジェクト会議
兵庫県企業振興部地域創生局地域交流推進地域再生班	委員	地域再生大作戦選考委員会
神戸市	委員	神戸市市民福祉調査委員会
兵庫県社会福祉協議会	委員	地域福祉研究会
公益財団法人こうべ市民福祉協議会	委員	2025 ビジョン検討委員会
公益財団法人ひょうごコミュニティ財団	委員	輝け加古川子ども基金選考委員
人・まち・住まい研究所	委員	第18回あさみスタジモ「シミズ・ナイト」
神戸市兵庫区社会福祉協議会	委員	グループ向け Facebook ページ活用広報講座初級編
兵庫教育大学	委員	社会ボランティア体験学習
南あわじ市	委員	南あわじ市地域づくり大交流会「住民が主体になれるまちづくり」
兵庫県立大学	委員	ひょうごの子育て支援「地域で支える子育て」
兵庫県立但馬長寿の郷	委員	地域活動応援セミナー
NPO 法人コミュニティアートセンタープラッツ	委員	TAJIMA-NPOミーティング「楽しい会議」の作り方
NPO 法人ひと・まち・あーと	委員	市民活動促進セミナー「みんなで取り組むまちづくり」
神戸市西区社会福祉法人連輪協議会	委員	参加法人職員向け研修講座「Facebook に親しもう」
丹波市	委員	市民活動、地域づくり活動支援フォーラム
一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団	委員	翔塾「社会を変える！地域を変える！～社会貢献、起業で自己実現～」
明石工業高等専門学校	委員	アクティブラーニング有識者懇談会

飯口 葵

兵庫県いなみ野学園	アドバイザー	これからのたのしい地域活動
-----------	--------	---------------

柏木 登

株式会社サイボウズ	アドバイザー	NPO のチーム運営と IT 活用
NPO 法人アエソン	アドバイザー	発達障害のあるこどもの支援ミーティング
個人	アドバイザー	チームキックオフワークショップ
リタワークス株式会社	アドバイザー	NPO パワーアップセミナー
NPO 法人経路コンベンションサポート	アドバイザー	中期計画策定ワークショップ
リタワークス株式会社	アドバイザー	NPO パワーアップセミナー
西部しあわせ訪問看護ステーション	委員	「チームブランディング」研修
おおいたボランティア・NPOセンター	委員	NPO のための「ブランディング」を学ぼう！
認定NPO 法人コミュニティサポートセンター神戸	委員	「国際問題・社会課題の伝え方・伝わり方」
NPO 法人フルーツバスケット	委員	潜在保育士キャリアデザイン講座
BAN-BAN ネットワークス株式会社	委員	良いチームになるためのコミュニケーションを学ぶ
NPO 東海道・古原宿	委員	伊豆市、熱海市 NPO マネジメント連続講座「共感を集める団体になるために」
BAN-BAN ネットワークス株式会社	委員	良い会議のためのメンバーシップとスキルを学ぶ
社会福祉士会東播地区ブロック	委員	「地域に事業所のファンをつくる」
NPO 法人コミュニティアートセンタープラッツ	委員	「共感を集める団体になるために NPO 法人の「伝え方」を極める」
泉大津市教育委員会	委員	市民活動の広報活動に役立つ知識を学べるセミナー
こうべソーシャルフォーラム実行委員会	ゲスト	NPO で働く私とソーシャル

木上 裕貴

兵庫県立但馬長寿の郷	アドバイザー	地域活動応援セミナー
兵庫県いなみ野学園	委員	コミュニケーション論講義&ワークショップ
一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団	委員	翔塾「社会を変える！地域を変える！～社会貢献、起業で自己実現～」
立命館大学	アドバイザー	地域参加学習入門
NPO 法人神戸まちづくり研究所	アドバイザー	「より良い組織づくりに必要なコミュニケーションとは？」

中塚 武

兵庫県立加古川南高等学校 PTA	アドバイザー	コミュニケーション研修
------------------	--------	-------------

宮崎 亮汰

えんの会	委員	いきいき活動している人の事例からボランティアを考える
------	----	----------------------------

		(円)		
科目		2018年度予算	2017年度決算	2017年度予算
I 事業収益の部	1 受取会費	400,000	323,000	350,000
	受取寄付金	400,000	1,057,931	600,000
	受取助成金等	1,000,000	1,270,000	1,000,000
	事業収益			
	(1) 個人のジリツ支援			
	学校への参加型プログラムの提供事業収益	100,000	125,184	100,000
	(2) 市民のジリツ支援			
	東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営事業収益	36,642,000	36,572,755	36,250,667
	シニア世代「地域デビュー」支援プラザ運営事業収益	941,000	963,000	963,000
	企業等へのコーディネート事業収益	900,000	880,200	900,000
	Kako-Style2事務局事業収益	0	13,780	0
	(3) 地域のジリツ支援			
	明石コミュニティ創造協会運営支援事業収益	0	9,900,000	9,900,000
	高砂海浜公園パークコミュニティマネジメント事業収益	0	1,117,800	973,080
	兵庫県地域創生ユースチーム運営事業収益	3,500,000	1,811,700	0
	たかさご活性化プロジェクト事業収益	600,000	426,600	426,000
	かがわ活性化プロジェクト事業収益	600,000	4,500,000	4,500,000
	(4) 団体のジリツ支援			
	チームブランディングプログラム提供事業収益	4,310,000	3,563,217	3,220,000
NPO・CB支援事業収益	0	9,000	0	
ひょうご市民活動協議会事務局事業収益	360,000	360,000	360,000	
(5) 全てのジリツ支援				
講師・委員等派遣事業収益	550,000	890,048	1,200,000	
事業収益計	48,503,000	61,133,284	58,792,747	
その他収益計	20,000	36,007	20,000	
經常収益計	50,323,000	63,820,222	60,762,747	
II 事業費用の部	事業費			
	(1) 人件費	34,550,533	44,428,712	44,581,477
	(2) その他経費	12,267,726	11,719,895	10,114,518
	事業費計	46,818,259	56,148,607	54,695,996
	管理費			
	(1) 人件費計	1,332,680	2,846,534	2,785,925
	(2) その他経費計	2,127,000	2,487,178	3,170,000
	管理費計	3,459,680	5,333,712	5,935,925
	經常費用計	50,277,939	61,482,319	60,631,921
	当期經常増減額	45,061	2,337,903	130,826
法人税、住民税及び事業税	100,000	277,100	100,000	
前期繰越正味財産額	28,946,008	26,885,206	26,885,206	
次期繰越正味財産額	28,891,069	28,946,008	26,916,032	

## 1 学校 Field 1 school

東播磨地域の大学や高校、中学校などに向けて、参加型プログラムや学生のキャリアデザインを行うプログラムの提供を行います。

学校への参加型プログラムの提供事業  
インターンシップの受け入れ

## 2 公共施設 Field 2 publicspace

東播磨生活創造センター「かこむ」事業が10年目を迎え、今年度からBAN-BANネットワークス(株)との共同事業体としての運営をスタートさせます。コンセプトは「東はりま暮らしを楽しむ人を増やす」と定め、東播磨での暮らしが充実する総合拠点を目指します。1年目は、利用者の裾野を広げる情報発信、企業へのネットワーク拡充に取り組みます。また、シニア世代「地域デビュー」支援プラザ運営事業では、これまで定期開催してきた「かこむ」内のサロンを、地域に広げ、地域内で独自運営する自立型サロンの設置サポートに取り組みます。

東播磨生活創造センター「かこむ」指定管理運営  
シニア世代「地域デビュー」支援プラザの運営  
企業等へのコーディネート

## 3 地域 Field 3 local

昨年度末にスタートした、兵庫県の地域創生を学生と行政職員の若手が検討する「兵庫県地域創生ユースチーム運営事業」の事務局を担い、地域創生に関する企画、立案をサポートします。また、BAN-BANネットワークス(株)と連携した事業も行います。かがわ・たかさご活性化プロジェクトでは、WEBニュース加古川・高砂経済新聞の運営サポートや、まちづくり拠点の運営を行います。同時に、加古川のまちづくり部門として「加古川まちづくり舎」の収益性を見出し、独自運営できる事業展開を目指します。また、従来からの明石コミュニティ創造協会の運営支援(複合型支援施設の運営と、明石市の自治組織支援等)を、他地域へ展開することも見据え、調査研究等に取り組みます。

兵庫県地域創生ユースチーム運営事業  
かがわ活性化プロジェクト事業  
たかさご活性化プロジェクト事業

## 4 組織 Field 4 organization

NPOや企業など、組織強化を行うチームブランディング事業を強化し、今後の独立した事業展開を目指します。専門部門として積極的な営業展開を行い、NPOに対するブランディングの認知向上に取り組みます。また、引き続き、ひょうご市民活動団体協議会事務局事業などのネットワーク事務局を通じて、兵庫のボランティアセクターの活性化を目指します。

チームブランディングプログラム提供事業  
NPO・CB支援事業  
ひょうご市民活動団体協議会事務局事業  
ひょうご中間支援団体ネットワーク

## 5 法人運営

これから求められる新たな中間支援の役割を果たしていくため、スタッフの雇用形態や規定の見直しを行い、自律的な働き方を整備しました。今年度、スタッフの育成をはじめ専門分野での支援強化や、サービスの確立、収益性の確保に取り組みます。中期構想(ネクスト5)の事業実現を目指し、次の3年を見据えて具体化させつつ、法人のリブランディングを継続して取り組みます。

法人リブランディングの組織  
人材育成の強化、実施  
機関の役割分担、権限明確の実施